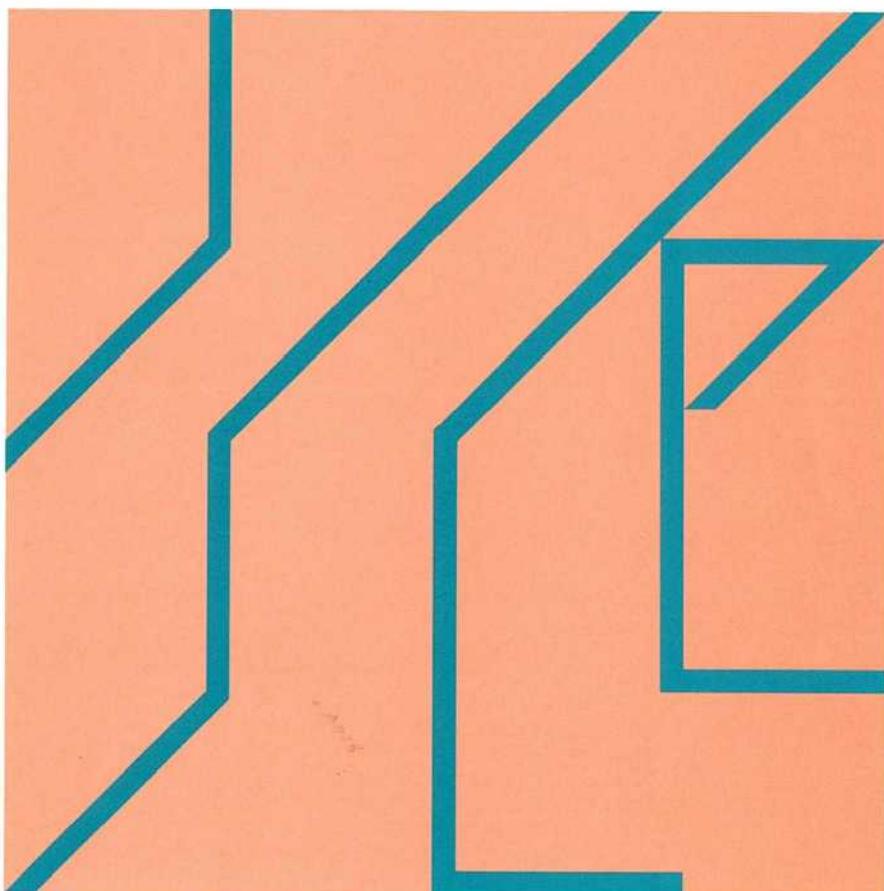


ISSN 0289-7806

昭和37年5月28日 第3種郵便物認可 平成7年2月15日・印刷 平成7年2月20日・発行 (毎月2回20日・21日発行)

土木学会論文集 V

1995-2 NO.508
V-26



JOURNAL OF
MATERIALS, CONCRETE
STRUCTURES AND PAVEMENTS



JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

(イタスカ)
米国ITASCA社開発の岩盤・地盤解析プログラム

未来設計企業



UDEC 3DEC

個別要素法(DEM)プログラム

オプション

- Barton-Bandisモデル

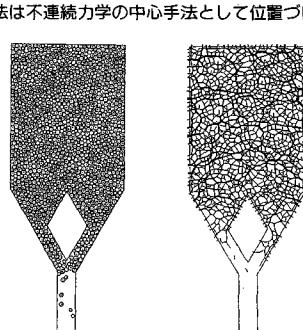
適用分野

- 粒状物質の挙動解析
- 鉱山採掘等 挖削解析
- 地震応答解析
- ジョイント内流れ解析
(浸透連成: UDEC)
- 核廃棄物の熱応力解析
(熱連成: UDEC)

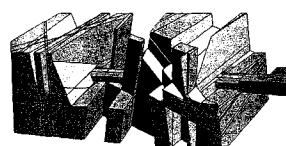
■販売条件

UDEC・3DEC・FLAC

- ◆EWS (SUN-SPARC)
- ◆IBM-PC/AT及び互換機
- ◆UDECはソースコードで提供します。
- ◆3DEC・FLACはロードモジュールで提供します。

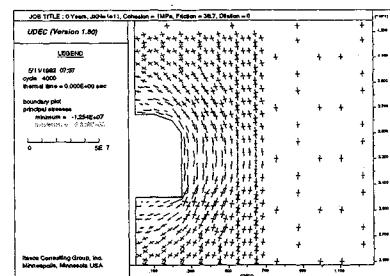
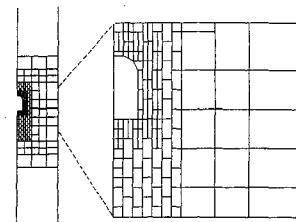


ホッパー内粒状体挙動解析



亀裂性岩盤の3次元掘削解析

個別要素法(離散要素法)は、1971年にDr.P.Cundallが発表した不連続体数値解析手法であり、岩盤や地盤をブロックや土粒子の要素の集合体と考え、個々の要素が隣接要素から受ける力により運動方程式にもとづき挙動する様子を時間差分式にて時刻繰り返し計算する手法です。個別要素法は不連続力学の中心手法として位置づけられ、岩盤・地盤の崩落や安定性の解析、大深度地下空間、核廃棄物地下処理、鉱物資源開発等のプロジェクトおよび粒状体力学(粉体工学)の分野で有力な解析手段となっています。現在UDEC, 3DECは全世界の研究機関・企業で標準コードとして広く使用されています。



核廃棄物地中処理影響解析

FLAC

有限差分法(FDM)プログラム

オプション

- ダイナミック解析モデル
- クリープ解析モデル
- 熱解析モデル

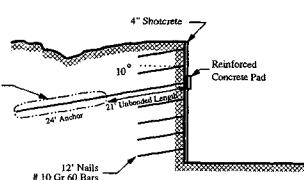
適用分野

- 斜面・盛土の設計、安定解析
- 浅／深基礎設計
- アースダム、コンクリートダムの設計
- トンネルの設計
- 核廃棄物貯蔵解析
- 液状化解析

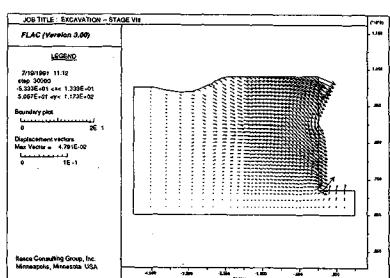
FLACは個別要素法コードUDEC, 3DECを発表したDr.P.Cundallが同様の有限差分ロジックを用いて連続体の塑性大変形の解析するために開発したコードで、現在、全世界で数多く使用されています。有限差分法は、地盤、岩盤を有限な領域内で離散化し、運動方程式と構成則を差

分方程式として解析するもので、有限要素法に比べ非線形大歪が扱えることで大きな優位性を持っています。

FLACは小一大歪 非線形、動的・静動挙動を始めとし、豊富な機能 オプションを備えたPC、ワークステーション用の地盤解析コードです。



地盤安定解析



〒541
大阪市中央区久太郎町4丁目1-3
(06)241-4121 営業担当: 岩崎

土木学会論文集編集委員会

委員長	田辺忠顕*	幹事	大谷 順*
副委員長	山口正記	編集調整会議幹事	京谷 孝史*
幹事長	野村卓史	第4小委員会	
第1小委員会		委員長	大蔵 泉*
委員長	西岡 隆*	委員	鹿島 茂*
委員	家村浩和	委員	加賀屋誠一
委員	北原道弘	委員	北村隆一*
委員	崎元達郎	委員	小林潔司*
委員	杉戸真太*	委員	新田保次
委員	原田隆典*	幹事	斎藤 潮
委員	藤野陽三*	編集調整会議幹事	溝上章志
委員	依田照彦*	第5小委員会	
委員	涌井 一*	委員長	山崎 淳
幹事	堀井秀之*	委員	尼崎省二
編集調整会議幹事	森 猛	委員	出光 隆*
第2小委員会		委員	坂田耕一
委員長	村岡浩爾*	委員	平澤征夫*
委員	喜岡 渉	委員	宮本征夫
委員	出口一郎	委員	山田 優*
委員	辻本哲郎*	幹事	前川宏一
委員	藤間 聰*	編集調整会議幹事	出雲淳一*
委員	森澤真輔*	第6小委員会	
幹事	山田 正	委員長	山口正記
編集調整会議幹事	田中昌宏	委員	伊藤 洋*
第3小委員会		委員	国重敏明*
委員長	徳江俊秀	委員	豊福俊泰
委員	亀村勝美	委員	中村兵次
委員	関口秀雄	委員	茗ヶ原義彦*
委員	高橋邦夫*	委員	吉川弘道
委員	久武勝保*	幹事	河野重行*
委員	兵動正幸*	編集調整会議幹事	青柳 薫*
委員	山口靖紀		

*平成6年度新任

討議について

この論文集に掲載された論文に対する討議はすべて土木学会論文集編集委員会あてとし、その締切期日は平成7年8月20日とする。

All communications and discussion (open until August 20, 1995) relating to the papers included in the Journal should be addressed to the Editorial Committee on Technical Publications, Yotsuya 1-chome, Shinjuku-ku, Tokyo, 160 Japan

土木学会論文集編集委員会からのお知らせ

土木学会誌(4月号), 論文集(5~7月号)に掲載しました『投稿規定の改訂について』の中の版下原稿の作成につきまして (2. 版下原稿の作成についての注2に記述), 版下原稿(オリジナル)は『当面B4判とA4判の両方を受け付ける』と致しましたが, 編集上と都合により『版下原稿(オリジナル)はA4判のみを受け付ける』と変更させていただきます。よろしくご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

↑ 今更に用意する機械は、主として、

土木学会論文集 No.508/V-26 定価 1500 円 (本体価格 1456 円)

平成7年2月15日 印刷

平成7年2月20日 発行

発行者——社団法人 土木学会 専務理事 河野 宏

東京都新宿区四谷1丁目無番地

発行所——社団法人 十木学会

〒 160 東京都新宿区四谷 1 丁目無番地 振替東京 6-16828 番

電話 03-3355-3441(代表). Fax 03-5379-2769.

03-3355-3435(編集課直通)

印刷所——奥村印刷（株）

造木デザイン—海保 透